

# GSP-T

## 相乗効果を示す天然の抗酸化成分プレミックス

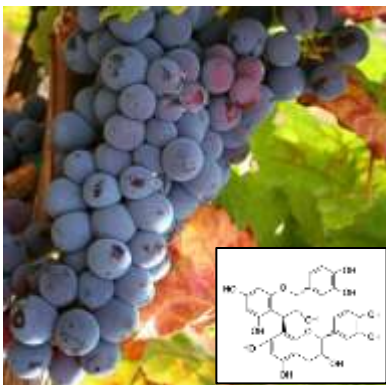
### 【特長】

植物由来のトコフェロール&ポリフェノールが主成分

相乗作用により、浸透性と安定性が向上

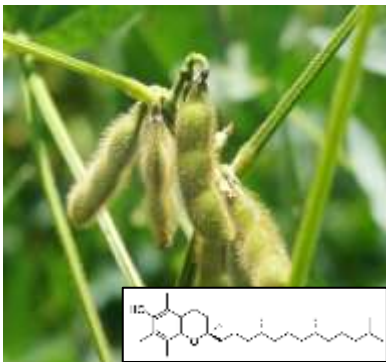
UV による過酸化脂質や糖化産物の産生を抑制

### 【コンセプト】



#### ブドウ種子由来の抗酸化成分「OPC」

高カロリー食でありながら心臓疾患の少ないフランス人の不思議「フレンチパラドックス」の正体とも言われるポリフェノール。中でも、特に優れた抗酸化活性をもつのが『OPC=オリゴメリックプロアントシアニジン』と言われています。GSP-T にはスイスの冷涼な地で育ち、最高級ワイン「ロマネコンティ」の原料となることで知られるブドウ品種「ピノ・ノワール」が使われており、OPC が最も豊富に含まれる種子を用いています。



#### 天然由来ビタミンE「トコフェロール」

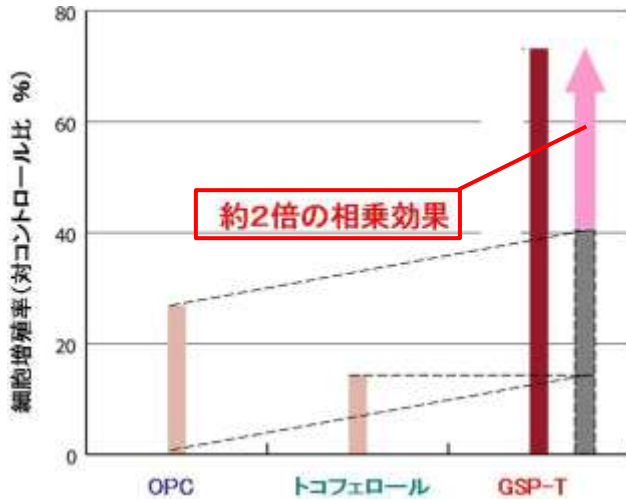
抗酸化剤として広く使われる「トコフェロール」の中でも植物(ダイズ)由来の $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$ の三種類が GSP-T には含まれます。

上記の2つの成分は、水性と油性、それぞれを代表する優れた抗酸化成分でありながら、安定性や浸透性に欠点がありました。GSP-T は、この2つを混ぜ合わせることによって、これらの欠点を解消し、相乗効果による高い抗酸化活性を安定的にしっかりと肌に届け、脂質やタンパク質の酸化、糖化などのダメージから保護します。



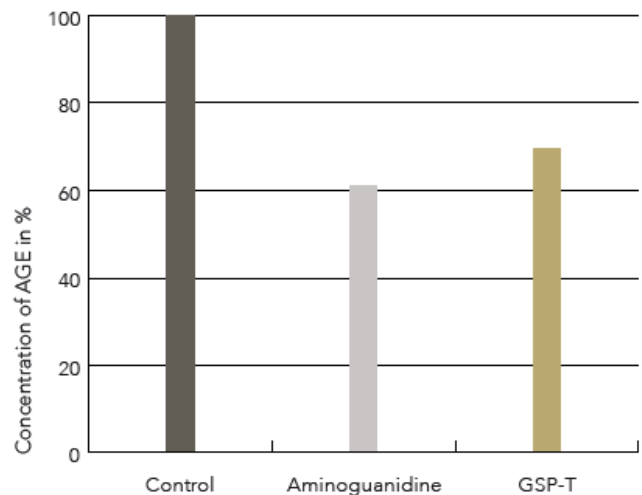
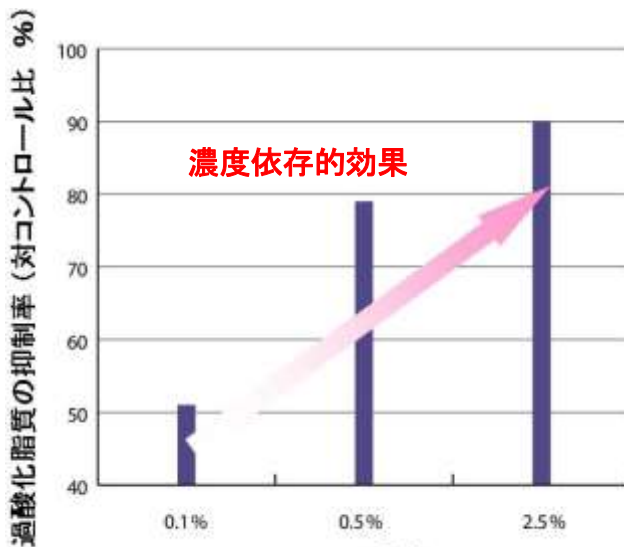
## 【効果・効能】

- 抗酸化能の相乗効果 (過酸化脂肪を用いた細胞への毒性の確認)  
OPC もしくはトコフェロール単体もしくはGSP-Tを等量添加したスクワレンをUVAにより酸化させた後、各々を培地に加えることによる細胞の増殖率を比較しました。



GSP-T (OPC とトコフェロールの組み合わせ) は相乗効果により、期待値より遥かに高い抗酸化効果が得られました

- UV による脂質の過酸化の抑制  
異なる濃度の GSP-T を添加したルリヂサ油 (不飽和脂肪酸を多く含有する植物油) を UVA によって酸化させ、産生された過酸化脂質量を比較しました。



GSP-T は、脂質の過酸化、及び、タンパク質の糖化 (AGE) を W で抑制します

## 【商品情報】

商品名 : GSP-T

表示名称 : ブドウ種子エキス、トコフェロール、水、グリセリン、PEG-40 水添ヒマシ油、エタノール

推奨配合量 : 0.5%-2.5%

製造元 : Mibelle Biochemistry

これは原材料に関する成分内容の説明、科学的データの紹介等をしており、効能効果を説明、保証するものではありません。また無断使用、無断転載を禁止します。

2011/4/1